

フラタニティ

友愛を心に活憲を！

季刊 **Fraternity**

No.34 2024.6

特集：池田大作氏を追悼する

池田大作氏の栄光と挫折

「人間性社会主義」と「創共協定」

創価学会の初心に戻れ(インタビュー再録)

中野 毅

村岡 到

二見伸明

T・ピケティの〈格差社会化〉批判

「歴史の終わり」の後に来るもの

——A・ブズガーリン教授の遺稿から

〈複数前衛党〉〈多数尊重制〉再論

文化大革命と習近平時代 ⑥

韓国における音楽と状況 ⑮

歩み続けるレイバーネット ③

武田信照

岡田 進

村岡 到

荒井利明

波津博明

松原 明

コール・ジェーン—女性たちの秘密の電話 (米・2022)



アメリカ連邦最高裁は二〇二二年六月に、人工妊娠中絶を憲法上の権利と認めた一九七三年一月の判決を覆す判決を言い渡した。今年四月九日には西部アリゾナ州の最高裁が、中絶をほぼ全面的に禁じた一六〇年前の州法の効力を認める判断を示した。これにはトランプ前大統領も「行き過ぎだ」と反対し、同州の州議会下院は四月二四日にこの州法を廃止する法案を可決

ム」の主人公ジョイは、二人目の子どもを身ごもっていた。一方で、そのため持病の心臓病が悪化し、妊娠を中止する以外に自身の命を守る手立てはなかった。この件は産婦人科医たちの会議に諮られたが、どの医師も中絶手術に踏み切ることに難色を示した。

ジョイはヤミ医師を受診するためダウンタウンへ向く。しかし、待合室に医師が出てきて「次はお前だ」と無言で指さす光景におじけづいて、そこから退散する。バス停の「CALL JANE」という張り紙をみつける。中絶を手助けするとのキャッチコピーと電話番号が書かれていた。自宅に戻ったジョイはおそろおそろダイヤルする。しかし相手が出ると切ってしまう。しばらくして意を決してもう一度かける。相手から「みな最初は一度目は切るものよ」と言われて少し気分が楽になる。待ち合わせの場所に迎える車が到着する。ドライバーの女性はジェーンとは別の名前を名乗る。「ジェーン」は団体名だった。その団体が入っているのは古びたビルで、エレベーターの中でジョイは手術費用を請求される。六〇〇ドル(きょうのレートで約九万五〇〇〇円)だった。ジョイなら支払えるが、ティーンエイジャ

ーには無理な額だ。お世辞にも清潔にはみえない手術室で、ジョイは「自分は腕がいい」とのたまう若い男性医師の手術を受ける。

彼はカネの亡者で、レイプされ妊娠してしまつた若い女性が団体に駆け込んできても、所定の金額を出せなければ仕事をしない。義憤にかられたジョイは偶然この医師が無免許であることを知る。これで彼を強請って手術手技を教えてくれるよう頼む。彼は「パンプキンから種を掻き出すようなものだ」と告げる。実は簡単な手術なのだ(?)。この団体は彼を解雇しジョイが「医師」をボランティアで引き継ぐ。だがやがて刑事が自宅を訪ねる事態になる。これで一巻の終わりかと思つたところ、ジョイはしたたかだった。手術手技を団体のメンバーに教えて「需要」にいつそう応えていく。

こうして一九七三年の最高裁判決まで、「ジェーン」は一万二〇〇〇件もの手術を手掛け、死亡事故は皆無だったとエンドロールに流れる。とはいえ犯罪行為には変わりない。二〇二二年の最高裁判決によって、「CALL JANE」が福音となる社会にアメリカは戻ってしまうのか。

した。上院も可決し州法の復活は阻止された。中絶の是非はアメリカ最大の争点の一つで、今秋の大統領選挙でも必ず取り上げられる。一九七三年の最高裁判決まで全米三〇州で堕胎は「犯罪行為」とされていた。本作の舞台である中西部イリノイ州もそれに含まれていたようだ。時代は一九六八年の大統領選挙前後である。同州シカゴで弁護士を夫にもつ「有閑マダ

た。ジョイなら支払えるが、ティーンエイジャ

(二〇二四年四月一日・新宿ピカデリー)

(にしかわ・しんいち/明治大学教授)